

2022年度
テーラーメイドカリキュラムにより潜在看護師の希望を実現する
リカレント教育プログラム

部分受講者用 シラバス
(講義計画)

研修No. 1

ベーシックプログラム		区分	看護実践基礎科目	
科目名	医療安全	時間数	1	
科目担当者	新田雅彦	授業形態	オンデマンド	
学習目的	現在の医療安全のトピックスについて学ぶ。			
学習目標	1. 医療安全の歴史について説明できる。 2. 医療安全の基礎知識を用いて意見交換ができる。			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	医療安全の歴史と概要	オンデマンド	新田
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLから小テストおよびミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/a2E8FGKGJRwbDCxs8		

研修No.2、No.3

ベーシックプログラム		区分	看護実践基礎科目	
科目名	高齢・認知症ケア	時間数	2	
科目担当者	浅島有紀 上野山恵子	授業形態	オンデマンド	
学習目的	健康障害をもつ高齢者に適切に対応するために必要な知識、技術、態度を修得する。			
学習目標	1. 高齢者の身体的、精神的、社会的特徴について説明できる。 2. 認知症をもつ高齢者と家族に必要な看護が説明できる。 3. 高齢者の尊厳と人権の尊重を踏まえた看護について述べられる。			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	高齢者の看護総論 ・ 老年期の加齢性変化 ・ 加齢に伴い変化する身体的・精神的・社会的特性 ・ 「老年期を生きる人」の価値観や信念を尊重した看護	オンデマンド	上野山
2	講義	認知症看護・せん妄看護総論 ・ 認知症の原因疾患、治療法、看護技術 ・ せん妄の要因と予防的ケア	オンデマンド	浅島
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLから小テストおよびミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/fgdPqWPopd3SoWmy7		

研修No.4、No.5

ベーシックプログラム		区分	看護実践基礎科目	
科目名	感染症とケア	時間数	2	
科目担当者	川西史子	授業形態	オンデマンド	
学習目的	感染症をもつ患者の対応および標準予防策の遵守に必要な基本的知識、技術を修得する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新興感染症に対する対応について説明できる。 2. 標準予防策について説明できる。 3. 標準予防策に必要な技術が正しく実施できる。 			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・標準予防策と経路別予防策の概要 ・標準予防策に基づく院内感染対策 ・経路別予防策に基づく院内感染対策 ・職業感染対策 	オンデマンド	川西
2	講義	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症法、新興感染症の概要（歴史を踏まえて） ・新型コロナウイルス感染症とその対応 	オンデマンド	川西
評価	ミニレポート	<p>各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLから小テストおよびミニレポートを提出してください。</p> <p>【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内</p> <p>【URL】 https://forms.gle/fgdPqWPopd3SoWmy7</p>		


研修No.6、No.7、No.8

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	看護理論	時間数	3	
科目担当者	鈴木久美	授業形態	対面/オンデマンド/ハイブリッド（双方向型）	
学習目的	学問としての看護学を学び、看護理論の基本的構造について学習する。また、看護理論の発展過程を概観し、看護理論からとらえる看護の特徴について学ぶ。関心ある看護理論を取り上げて、看護実践への活用について考察する。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の定義・機能について説明できる。 2. 看護学を構成する主要概念について説明できる。 3. 看護理論の構成要素を説明できる。 4. 看護理論の発展過程を説明できる。 5. 関心ある看護理論について説明できる。 6. 看護理論の看護実践への活用について考察できる。 			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の定義、機能について 2. 看護学における4つの主要概念について 3. 看護理論の構成要素について 	オンデマンド	鈴木
2	講義	グループワーク（事例検討）	ハイブリッド （対面：20名まで）	鈴木
3	演習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関心ある看護理論についてのグループワーク 2. 取り上げた看護理論の看護実践への活用の検討 	対面 （20名まで）	鈴木
評価	ミニレポート	<p>各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。</p> <p>【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内</p> <p>【URL】 https://forms.gle/xj57McP5dW3B6hM97</p>		

研修No.9、No.10

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	看護教育	時間数	5	
科目担当者	池西悦子	授業形態	対面/双方向型	
学習目的	成人学習の視点から効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を理解する。			
学習目標	1. 臨地実習の意義及び実習指導者としての役割が説明できる。 2. 成人学習の特徴をふまえた学習支援方法が説明できる。 3. リフレクションを活用した経験学習の支援方法が説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	1.臨地実習の目的・意義 2.臨地実習指導者の役割 3.成人学習者の特徴 4.成人学習者の学びを支援する理論と方法	オンデマンド	池西
2・3	講義 演習	1.グループワーク(事例検討) 2.リフレクションの実際 1) セルフリフレクション 2) グループリフレクション 3) 学びの共有 ★事前課題：リフレクションシートの記入	対面 (20名まで)	池西
評価	ミニ レポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/GfrC82kYFgV6MBhQ8		


研修No.1 1、No.1 2、No.1 3

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	社会保障制度	時間数	3	
科目担当者	林 佳美	授業形態	対面／オンデマンド	
学習目的	わが国における社会保障制度、医療保険、介護保険のしくみについての知識を修得する。			
学習目標	1. わが国における社会保障制度の基本的な考え方を説明できる。 2. 医療保険、介護保険のしくみを説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	わが国における社会保障制度 ・ 社会保障の役割と機能 ・ なぜ社会保障は必要か	オンデマンド	林
2	講義	グループワーク（事例検討）	オンデマンド	林
3	講義	地域包括ケアシステム	ハイブリッド (対面：50名まで)	林
評価	ミニレポート	各講義が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/9oPmnLHYEULY1mqe7		 社会保障


研修No.14、No.15、No.16、No.17、No.18

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	腎不全とケア		時間数	5
科目担当者	飛田伊都子		授業形態	対面/双方向型（ハイブリッド）
学習目的	腎不全患者を取り巻く現状を理解し、看護展開の基礎となる理論等について学ぶ。			
学習目標	腎不全患者の病態とその看護について理解し、説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	腎不全とその治療法 腎機能およびCKD（chronic kidney disease）1～5の病態について概説し、我が国の現況を紹介する。さらに、腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎移植）について概説する。	ハイブリッド （対面：50名まで）	飛田
2	演習	グループワーク（事例検討）	対面 （50名まで）	飛田
3	講義	腎臓リハビリテーションにおける看護 血液透析治療中の運動療法について紹介し、サステナブルな運動のための心理的看護介入について解説する。	ハイブリッド （対面：50名まで）	飛田
4	講義	透析マネジメント 血液透析室の安全管理および感染管理について解説する。さらに、透析治療中のインシデント、透析回路および穿刺に関わるトラブルおよびその対処法について紹介する。	ハイブリッド （対面：50名まで）	飛田
5	演習	透析機器等の管理 血液透析機器の取り扱い・ダイアライザーの膜の種類と分類、バスキュラーアクセスの管理について解説する。	対面 （9名まで）	飛田／折田
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/pnniXjnQWjqbmLwq9		 腎不全

研修No.19、No.20、No.21、No.22、No.23

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	呼吸器疾患とケア	時間数	5	
科目担当者	西原 望	授業形態	対面/オンデマンド	
学習目的	呼吸機能障害をもつ対象の療養生活を支えるために必要な知識、技術を修得する。			
学習目標	1. 呼吸機能障害をもつ対象のアセスメントとそのケアについて説明できる。 2. 呼吸機能障害の治療に必要な援助技術が実施できる。 3. ME機器の原理と管理について説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	呼吸器疾患とケア ・疾患の特徴に合わせた看護 ・呼吸困難時のケア	オンデマンド	西原
2	講義 演習	グループワーク（事例検討）	対面 (20名まで)	西原
3	講義 演習	人工呼吸器の原理と基礎 ・人工呼吸器、NPPV、NHF	対面 (20名まで)	山口
4	講義 演習	人工呼吸の実際（実機を用いたトラブルシューティング） ・人工呼吸器の動作 ・NPPVとNHFのマスクフィッティングと動作	対面 (20名まで)	西原 山口
5		人工呼吸器装着時の看護		
評価	ミニレポート	講義または演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/MasDJqKe4Mqe3pGPA		

研修No.24、No.25、No.26、No.27、No.28

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	リンパ浮腫とケア		時間数	5
科目担当者	赤澤千春 寺口佐與子		授業形態	対面/オンデマンド/ハイブリッド（双方向型）
学習目的	1. リンパ浮腫の病態を理解する。 2. リンパ浮腫の病態に合った適切なケア(患者指導を含む)を理解する。			
学習目標	1. リンパ浮腫の病態を説明できる。 2. リンパ浮腫のステージに合ったケアの方法が説明できる。 3. 予防を含めた指導を考えることができる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	リンパ浮腫についての概要を学ぶ ・解剖生理 ・発症機序 ・治療法	オンデマンド	赤澤
2	講義	グループワーク（事例検討）	ハイブリッド （対面：50名可）	寺口
3	演習	患者に施行する複合的療法 ・圧迫療法（上肢） （弾性着衣、弾性包帯） ・運動療法	対面 （12名まで）	赤澤 寺口
4	演習	患者に施行する複合的療法 ・圧迫療法（下肢） （弾性着衣、弾性包帯）	対面 （12名まで）	赤澤 寺口
5	演習	確認の試験（弾性包帯）	対面 （12名まで）	赤澤 寺口
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/MAUp81BvyyWvf3wA6		


研修No.29、No.30、No.31、No.32、No.33

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	がん緩和ケア		時間数	5
科目担当者	上田育子 長嶺美奈子 有田由美 後藤純子		授業形態	双方向型（ハイブリッド）
学習目的	がん治療を受ける対象の療養生活を支えるために必要な基礎知識を修得する。			
学習目標	1. 主ながん治療を受ける患者の特徴と援助について説明できる。 2. 症状マネジメントについて説明できる。 3. 臨床経過における患者とその家族の特徴と看護について説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	がん看護概論 ・がん患者・家族の特徴とがんの診断、治療の概要 ・がん患者のQOLと全人的苦痛 ・がん患者・家族へのさまざまな支援の現状	ハイブリッド (対面：50名まで)	上田
2	講義	グループワーク（事例検討）	ハイブリッド (対面：50名まで)	有田
3	講義	がんと放射線療法 ・放射線の基礎知識とがん放射線療法 ・放射線についての基礎知識を学ぶ ・がん放射線療法の目的や種類を理解する	ハイブリッド (対面：50名まで)	後藤
4	講義	がんと疼痛緩和 ・痛みのアセスメントに必要な基礎知識とがん疼痛治療法 ・痛みのアセスメント項目と痛みの緩和のための看護技術	ハイブリッド (対面：50名まで)	長嶺
5	講義	スピリチュアルペインとケア ・がん患者のスピリチュアルペインとケア	ハイブリッド (対面：50名まで)	長嶺
評価	ミニレポート	講義が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/sxfmpHFXPg7VRdz5		


研修No.34、No.35、No.36、No.37、No.38

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	子どもとケア		時間数	5
科目担当者	竹村淳子 鈴木美佐 倉橋理香		授業形態	対面/オンデマンド
学習目的	子どもの発達と健康障害に適した看護を実践する能力を養う。			
学習目標	1. 子どもの発達について説明できる。 2. 健康障害のある子どもと家族への看護について説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	小児医療の変遷、心身の発達、小児看護の場における倫理問題と原則となる考え方	オンデマンド	竹村
2	講義	グループワーク（事例検討）	オンデマンド	倉橋
3	講義	小児看護 TOPICS② 【事例編：子どもの発達と疾患・治療をふまえたアセスメント / 川崎病のある子どもへの看護】	オンデマンド	鈴木
4	講義	小児看護 TOPICS③ 【事例編：医療依存度の高い子どもと家族への看護】	オンデマンド	鈴木
5	演習	検査・処置時の対応とプレパレーションの実際 ・プレパレーションの基本的考え方 ・事例を用いたロールプレイ	対面 (20名まで)	鈴木
評価	ミニレポート	実習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/FTvG28MuLCo63uWX6		

研修No.39、No.40、No.41、No.42、No.43

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	地域包括ケア	時間数	5	
科目担当者	真継和子 大橋尚弘 林佳美	授業形態	対面/双方向型（ハイブリッド）	
学習目的	地域包括ケアシステムにおける在宅看護の必要性を理解し、在宅看護の目的・機能・基本的理念をふまえて、在宅看護の支援の基本について理解する。			
学習目標	1. 地域包括ケアシステムの概要について説明できる。 2. 在宅看護の視点と主要概念について説明できる。 3. 在宅療養者と家族の特徴をふまえた看護の展開方法が説明できる。 4. 在宅看護における訪問看護活動の実際について説明できる。 5. 退院支援・退院調整から在宅ケアにおける看護の役割について説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	1. 地域包括ケアシステムの必要性と目的、機能 2. 地域包括ケアシステムづくり 3. 在宅看護の目的と位置づけ、基本理念	ハイブリッド (対面；50名まで)	真継
2	講義	グループワーク（事例検討）	ハイブリッド (対面；50名まで)	林
3	講義	1. 在宅看護過程の特徴 2. 在宅看護過程の展開 3. 家族看護の必要性と実際 4. 在宅看護におけるリスクマネジメント	ハイブリッド (対面；50名まで)	真継
4	講義	1. ケアマネジメントの定義と目的 2. ケアマネジメントのプロセス 3. チームケアと多職種連携 4. 退院支援・退院調整	対面 (20名まで)	大橋
5	演習	事例展開	対面 (20名まで)	大橋
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/DXPK5QqqHUaViCf88		

研修No.4 4、No.4 5

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	エンド・オブ・ライフケア	時間数	3	
科目担当者	山口久子	授業形態	対面	
学習目的	1. 人生の最終段階に共通する自然経過、意思決定支援の基礎知識を身につける。 2. 援助的コミュニケーションについて、ロールプレイを交えて学ぶ。 3. スピリチュアルペインに対するケアを理解する。			
学習目標	1. 在宅における看取りの現状について説明できる。 2. 解決が困難な苦しみを抱えた人に対する援助的コミュニケーションについて説明できる。 3. アドバンス・ケア・プランニング、グリーフケアの基礎知識について理解し説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	エンド・オブ・ライフを支える在宅の現状について アドバンス・ケア・プランニング グリーフケア	対面 (20名まで)	山口
2	講義 演習	グループワーク（事例検討）	対面 (20名まで)	山口
3				
評価	ミニ レポート	各講義・演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/tWukQJMfTRikn		

研修No.4 6、No.4 7、No.4 8、No.4 9、No.5 0

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	看護に必要な生体診断	時間数	5	
科目担当者	津田泰宏 安田稔人	授業形態	対面/双方向型（ハイブリッド）	
学習目的	看護実践に必要な生化学検査、画像検査の読み方・解釈の仕方を理解する。			
学習目標	看護実践に必要な生化学検査、画像検査の読み方・解釈の仕方を説明できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	血液検査、動脈血ガス検査、心電図など代表的な生理学検査の臨床的な意義、所見の解釈の方法などを習得する。 予習：血液検査項目や血液ガス項目について調べておく 復習：検査項目の異常を示している病態を看護に繋げるように整理しておく。	ハイブリッド (対面：50名)	津田
2	講義	グループワーク（事例検討）	ハイブリッド (対面：50名)	津田
3	講義	超音波検査の仕組みと臨床的意義、代表的な異常所見の捉え方、解釈の仕方を学ぶ。 予習：超音波検査法について調べておく。 復習：超音波検査の異常から病態を読み取り、看護に繋げることができるように整理しておく。	ハイブリッド (対面：50名)	津田
4	講義	筋骨格系の外傷・疾患について、単純レントゲン検査、超音波検査、MRI検査の所見の解釈の方法などを習得する。 予習：高齢者に多い、外傷・疾患を整理しておく。 復習：代表的な外傷・疾患の画像所見の特徴を整理して、看護実践につなげる。	ハイブリッド (対面：50名)	安田
5	演習	実際のエコー機器に触れて、その使い方、実践におけるコツなどを習得する。 予習：超音波検査の講義を振り返り、検査の方法などを復習しておく。 復習：看護実践にて適切に超音波検査が利用できるように知識を整理しておく。	対面 (10名)	津田
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/2WizbFHztTFGtdyC6		

研修No.5 1、No.5 2、No.5 3、No.5 4、No.5 5

スキルアッププログラム		区分	看護実践発展科目	
科目名	在宅リハビリテーション	時間数	5	
科目担当者	玉木 彰	授業形態	対面/双方向型（ハイブリッド）	
学習目的	1. 在宅リハビリテーションの基本を学ぶ			
学習目標	1. フィジカルアセスメントに基づいたリハビリテーションの具体的方法について説明できる。 2. フィジカルアセスメントに基づいたリハビリテーションを模擬患者に対して実施できる。			
履修要件	—			
回数	方法	内容	授業形態	担当講師
1	講義	呼吸・循環器系のフィジカルアセスメント（視診・触診、打診、聴診）の内容および、得られた所見から推定される病態を理解する。またアセスメントに基づき在宅で可能なリハビリテーション内容について学ぶ。	対面 (50名まで)	玉木
2	演習	グループワーク（事例検討）	対面 (50名まで)	玉木
3	演習	在宅リハビリテーションの実際（排痰法、運動療法など） ★聴診器あれば持参してください。 ★動きやすい服装で来てください。	対面 (50名まで)	玉木
4	講義	在宅リハビリテーションとは 在宅リハビリテーションの対象について 運動療法および自主トレーニングの一例（演習）	ハイブリッド (対面：50名まで)	熊田
5	講義	<ul style="list-style-type: none"> 在宅言語聴覚療法の概要 在宅言語聴覚療法のリスク管理・連携について 在宅言語聴覚療法の実際（症例提示含む） 	ハイブリッド (対面：50名まで)	符田
評価	ミニレポート	各回の講義や演習が終わりましたら、QRコードまたはURLからミニレポートを提出してください。 【締め切り】 各講義・演習終了後 1週間以内 【URL】 https://forms.gle/iU5vAeFE5F17Rg8i8		